

《羊とヤギ》プロフィール

中世の音楽、民俗音楽、近現代の作品を取り上げ、自然体の響きと共振を大切に
して、独創的な音楽を展開。音楽の本質を一回性に見出し、マイクを通さない生演奏を
基調にしている。2017年CD「O Terra (大地よ)」発売。

富田牧子 (チェロ) Makiko Tomita

東京芸術大学在学中にリサイタルを行い、演奏活動を始める。フランス、イタリア、オース
トリアの音楽祭や講習会、またニューヨークでハーヴィ・シャピロ氏の指導を仰ぐなど、ソロ
と室内楽の研鑽を積む。大学院修士課程修了後、2000年から2年間ハンガリー・ブダペストに
留学、バルトーク弦楽四重奏団チェロ奏者メズー・ラースロー氏に師事。NHK-FM「名曲リサ
イタル」、ORF(オーストリア放送)の公開録音に出演。各地でソロリサイタルを開催するほか、
弦楽四重奏団メンバーとしての活動を行う。その後、ピリオド奏法への関心を深め、バロック
と現代のスタイルの楽器にガット(羊腸)弦を張り、様式の異なる弓を使い分けながら、様々
な楽器との組み合わせによる「充実した内容の音楽を身近で味わうコンサート」の企画を続け
ている。J. S.バッハと近現代の無伴奏作品を組み合わせたコンサートも好評継続中。

<http://tomitamakiko.seesaa.net/>

コスマス・カピッツァ (パーカッション) Kosmas Kapitza

ドイツに生まれ、日本とドイツの両国で育つ。オーケストラでヴィオラを弾いていた学生時
代にコンガドラムに目覚める。ミュンヘン・インターナショナルスクール・オブ・パーカッ
ションでモダンとラテンのパーカッションを学び、様々な国のミュージシャンと演奏活動を行う。
1990年、東京に移住。ソニーとバンド契約。「オルケスタ・デ・ラ・ルス」で2年間ワールド
ツアーに参加。「葉加瀬太郎」「アガルタ」「熱帯JAZZ楽団」「Mamadou Doumbia & Mandinka」
「bird」「minga」「長谷川きよし」等とのライブ/レコーディング活動を経て、自身のバンド
「Planetsensorium (プラネットセンソリウム)」のCDを2008年に発売、ドラムとパーカ
ッションをミックスした独自の世界観を作り上げる。2016年はUAのレコーディング(「JaPo」)
とツアーライブに参加。太鼓の種類や音楽のジャンルに捉われず、リズムと音の力の原点に立
ち、演奏活動を行っている。

Thursday, October 25, 2018 3:00pm / 7:30pm

Pecora e Capra Concert @Ekoda

Welcome to Pecora e Capra's world!

Makiko Tomita, cello & Kosmas Kapitza, percussion

at Gallery FURUTO, 9-16 Sakae-cho, Nerima, Tokyo

[Program] Music by Hildegard von Bingen, Bartok, Part, Vasks,
Bulgarian dances etc.

[Fees]

Adults(advance) 2500 yen/ (doors) 3000 yen/ Ages 6 – 11: 500 yen

/Ages 12 – 15: 1000 yen /under 5 free

at 3:00 Concert: Babies can sit on the floor

[Reservation]

Gallery FURUTO: E-mail fwge7555@mb.infoweb.ne.jp

MA-kikaku: kikaku_ma@yahoo.co.jp